

用語の説明

第4章

^{しぎょ}仔魚：孵化してから、全ての鰭の条数が成魚と同じになるまでの段階。

^{ちぎょ}稚魚：魚の発達段階のうち、仔魚に続く段階で、すべての^{ひれ}鰭の^{じょうすう}条数が、成魚のそれと同等になってから、^{うろこ}鱗が出来上がるまでの期間。

幼魚：孵化してから成魚になるまでの段階を一括して幼魚という。仔魚と稚魚は、用漁期の中の一つの段階。

水生昆虫：生活過程の全部または一部を水中で生活する昆虫のグループの総称。

生活型：生物を生活様式に基づいて類型化したもの、ないしは生活様式による生物の類型をいい、生活様式に着目した生物のグループ分けを生活型分類または生態的分類という。

^{ほふくがた}匍匐型：はって移動する生活型。

^{くっせんがた}掘潜型：砂または泥の中に潜っていることが多い生活型。

^{ぞうもうがた}造網型：分泌絹糸を用いて捕獲網をつくる生活型。

デトライタス（デトリタス）：分解中の生物の断片や死骸をデブリという。これは非生体的有機物であるが、これに付着したりこれを分解する微生物すなわち生体的有機物と区別・境界が困難であるので、これらを総称としてデトライタスまたはデトリタスという。

集団繁殖：鳥がコロニーを形成して繁殖すること。

^{えいそう}営巣：繁殖期に鳥が巣をつくること。

^{きかしょくぶつ}帰化植物：本来の野生地から、人間の移動や動物の媒介によって他の地域に持ち込まれ、自然に定着した植物。